

# 私たちの暮らしに身近な SDGs

最近、テレビや新聞などでよく目にするようになった「SDGs」。

でも、詳しい内容は分からないという人も多いのではないのでしょうか。この特集では「SDGs」とは何かを考えるとともに、実は私たちの暮らしに身近な「SDGs」について取り上げていきます。



## SDGs (エスディーゼズ) って何だろう？ →「世界みんなが取り組むべき 17 の目標」

世界では貧困や紛争、差別や暴力などさまざまな問題が起こっています。気候変動による自然災害も増え、経済発展のための開発により天然資源は減少し、自然環境も破壊されています。

SDGs は、このような課題を解決するために 2015 年に国連サミットで採択された「持続可能な開発目標」(=Sustainable Development Goals) のことで、2030 年までに世界のすべての人たちが「幸せ」にさせることを目指しています。



## 石岡市では SDGs の取り組みを行っているの？ →市全体の指針「石岡市総合計画」には

SDGs の視点が取り入れられています

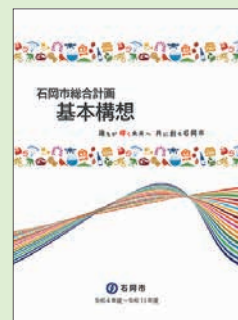
実は、石岡市の最上位計画であり、自治体経営の基本的な指針である石岡市総合計画には SDGs の視点が取り入れられています。つまり、石岡市で行われている様々な取り組みは、SDGs の目標実現につながっているということです。

次のページからは、石岡市が SDGs の視点を取り入れて積極的に行う取り組みと、私たちが生活の中で実践できる SDGs の取り組みについてご紹介していきます。

### ここにも SDGs

石岡市総合計画の表紙に描かれているデザインは、SDGs のロゴと同じ 17 色になっています▶

総合計画の詳細はこちらから▶



# 石岡市役所の中にも SDGs

石岡市役所の庁舎にも人や環境に配慮した設備がたくさんあります。



エネルギーをみんなに  
そしてクリーンに



二重屋根の空気層において、温められた熱を再生可能エネルギーとして効率的に空調利用しています。冬季は暖房の予熱、夏季は除湿用の温水生成に利用しています。

＼ここにも SDGs／

霞台クリーンセンターみらい  
(小美玉市高崎 1824 番地 2)



廃棄物を焼却したときに発生する熱エネルギーを回収・利用する「サーマルリサイクル」を採用しています。得られたエネルギーは、施設稼働に必要な電力に利用するなどしています。



### 11 住み続けられるまちづくりを



東日本大震災の教訓をもとに、44台の積層ゴムと12台のオイルダンパーにより、地震に強い免震構造を取り入れています。



### 13 気候変動に具体的な対策を



来庁者駐車場に電気自動車用の急速充電器（50kwタイプ）を1台設置し、24時間利用できるようにしました。

電気自動車の普及と利用者の利便性向上を図っています。

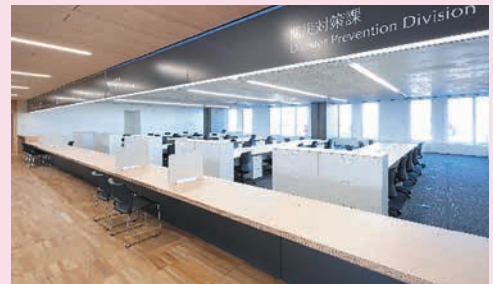


### 10 人や国の不平等をなくそう



赤ちゃん連れの人が安心して来庁できるように、赤ちゃんの駅を設けています。室内にはベビーベッドやソファ、給湯設備などが備え付けられており、授乳やおむつ交換ができます。

（赤ちゃんの駅設置の施設は P22「子育て information」で紹介しています。）



高齢者や車いす利用者が利用しやすいように、窓口のカウンターは低く設置しています。



トイレの入り口には、目の不自由な人でも利用しやすいように、誘導用の音声案内設備を設置しています。



# 石岡市におけるSDGsの取り組み

美しい里山を守る

## 有害鳥獣被害対策



市では、耕作放棄地の増加や農業者の高齢化・後継者不足などで、特に深刻化するイノシシによる農作物被害への対策を進めています。「農作物被害防止防護柵設置事業補助金」や「狩猟免許等取得補助金」などの各種補助金を支給するほか、鳥獣被害対策実施隊などと協力し、地域ぐるみで里山保全に取り組んでいます。



▲令和4年度鳥獣被害対策実施隊第1回発足式  
 問農政課 Tel 43-1111(内線 1143・1147)

男性の家事・育児参加を応援

## 石岡市 パパハンドブック



市では、男女がともに個性や能力を発揮することができる社会の実現に向けた取り組みを進めています。そのためには、性別による固定的な役割分担意識を解消し、男女が協力し合うことが必要です。

市が作成した「石岡市パパハンドブック」には、男性が家事・育児に参加することのメリットやポイントなどが分かりやすくまとめられており、ママと一緒に子育てを楽しむパパを応援しています。



市民課、政策企画課窓 ▲石岡市  
 口で配布しています。 パパハンドブック  
 問政策企画課 Tel 23-7277

良好な景観を未来へ残す

## 看板建築・ 茅葺き民家の保全



市では、良好な景観の保全を目的として、建築物などの修景事業を支援しています。

「石岡市住民参加型まちづくりファンド支援事業」では、市民や企業からの寄附などを財源として、石岡市に古くから残る建物の保全に取り組んでいます。看板建築や茅葺き民家の保全はその取り組みの一つです。



▲八郷の小屋地区にある筑波大学茅葺き研究拠点  
 問都市計画課 Tel 23-5523

誰もが安心してくらせる石岡市へ

## 在住外国人への取り組み



市では、在住外国人に向けて、スマートフォンにも対応した多言語防災ハンドブックを公開しています。また、市民団体が行う国際交流事業や日本語教室を支援しています。

問政策企画課 Tel 23-7277

## ウクライナ支援



市は「核兵器廃絶平和都市宣言」を宣言し、核兵器の廃絶だけでなく、戦争のない平和な社会の実現を強く望んでいます。

現在、市では、ウクライナへの支援として「ウクライナ人道危機救援金」の受付を行っているほか、避難民の受入体制整備などを進めています。

問政策企画課 Tel 23-7277 (受入体制整備)  
 問社会福祉課 Tel 23-5569 (救援金の受付)

事業者・社協・住民が一体となる

## 「つながるプロジェクト」 によるお米の配布



市社会福祉協議会（以下、社協）では、地域がつながる石岡独自のしくみを地域の皆さんと創り上げることを目的として「つながるプロジェクト」を行っています。その取り組みの一つとして、新型コロナウイルスの流行により消費が落ち込んで余った市内産のお米がJA やさとから寄附されたことを受け、ひとり親世帯や高齢者世帯などに無料配布を行っています。

この取り組みは行政主導ではなく、地域から自発的に声があがりました。事業者から社協へ、社協から住民へ、住民から住民へと顔の見える関係が次々に作られ、地域のつながりを強化しています。



▲JA やさとから社協へのお米の贈呈式（左）と配布の様子（右）

石岡市社会福祉協議会本所 TEL 22-2411  
市社会福祉協議会八郷支所 TEL 36-4311

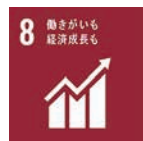
## みんなでチャレンジ SDGs



- すぐに食べるものは賞味期限が近いものを購入する
- 食べ残しを減らす



- 家事や育児を家族で分担する
- 男性だから、女性だからと決めつけがない



- 人や社会に配慮した製品（フェアトレード製品など）を購入する



- 電車やバスなど公共交通機関で移動する
- 地元の農作物を買い、食品の輸送にかかるCO2排出を削減する

給食による食育の推進

## 給食に地元産の 有機農作物を



市では、児童生徒の健康と食育の推進のため、公費による負担を増やし、学校給食の充実を図っています。特に、地場産物の使用や郷土料理を通して、食べ物を大切に感謝の心を育み、食事の重要性や食文化への理解を深める食育の取り組みを進めています。

4・5月には、瓦会地区で生産された有機レタスがスープに使われました。食べる前に、食育の取り組みとして栄養教諭が作成した資料や動画が紹介され、子どもたちは有機レタスがどのように生産されたかを学びました。地元の新鮮なレタスに子どもたちも喜び、食への関心も高まりました。



▲給食に使用された瓦会地区の有機レタス  
石岡給食センター TEL 22-6286

このような取り組みをしているあなたは、  
すでにSDGsを実践している一人です。



- 健康診断や予防接種を受ける
- 適度な運動を心掛ける
- バランスのよい食事を心掛ける



- 電気をこまめに消す
- 冷暖房の設定温度を控える



- 環境保全や資源保護に関する認証ラベル（エコマーク、FSCマークなど）の付いた商品を選ぶ
- フードバンクに協力する



- 選挙で投票する
- ボランティア活動に参加する
- 区長や協力員として地域で活動する